

日本自然保護大賞・選考委員特別賞を受賞

山のトイレを考える会

(公財)日本自然保護協会主催の日本自然保護大賞(2024年で10回目)に応募し、当会は選考委員特別賞を受賞しました。日本の自然保護と生物多様性の保全に大きく寄与した団体に授与されます。大賞は3団体、特別賞の沼田眞賞1団体、同じく特別賞の選考委員特別賞が2団体、入選が6団体です。

2000年ころから携帯トイレの普及啓発と登山者が利用し易い環境整備に行政や山岳団体、民間事業者等と協働で取り組んできたことが評価されました。

授賞式は2025年1月19日(日)午後札幌エルプラザで開催しました。

●応募活動名「大雪山国立公園の山岳トイレ問題解決に向けた取り組み」

●選定理由

トイレのない大雪山国立公園の美瑛富士避難小屋やトムラウシ山の南沼野営指定地は、登山者の排泄による汚物やティッシュが散乱し、高山植物が踏みつけられ裸地が拡大するなど目を覆う惨状だった。登山者に自分の排泄物を持ち帰る携帯トイレの使用を呼びかけ、現在、登山者の携帯トイレの持参率は90%以上となった。官民協働して携帯トイレブース設置の機運を醸成し、複数の場所に設置を実現した。

●受賞セレモニー

- ・2025年1月19日(日)14時~15時30分。札幌エルプラザ環境研修室
- ・出席者 日本自然保護協会：選考委員・(株)山と溪谷社自然図書出版部長 神谷有二氏
日本自然保護協会 日本自然保護大賞事務局 3名
山のトイレを考える会 22名



応募申請書



プレゼン資料



参加された皆さま、ありがとうございました！

「日本自然保護大賞 2024」授賞セレモニー開催！

日本一の自然保護、生物多様性保全活動を選ぶ「日本自然保護大賞 2024」の選考委員特別賞を受賞した「山のトイレを考える会」（北海道札幌市）の授賞セレモニーを開催いたします。

- 日時：2025年1月19日(日) 14:00～15:30
- 場所：札幌エルプラザ 2F 環境研修室 1（札幌市北区北8西3）
- 出席選考委員：

土屋俊幸（選考委員長、公益財団法人日本自然保護協会理事長）
神谷有二（選考委員、(株)山と溪谷社自然図書出版部部長）

- 次第(予定)
- 1. 自然保護大賞について 日本自然保護協会事務局
- 2. 講評 選考委員
- 3. 賞状・盾の授与 選考委員
- 4. 活動の紹介 山のトイレを考える会のみなさん



土屋選考委員長



神谷選考委員

【選考委員特別賞】

山のトイレを考える会

受賞テーマ：大雪山国立公園の山岳トイレ問題解決に向けた取り組み

（講評）登山の途中で立ち寄ったトイレの状態に不快な思いをした方は多いでしょう。また、登山者の少ない山域では、そもそもトイレが存在せず、環境保全上、景観上、深刻な問題を引きおこしている事例があります。最善の解決策として、携帯トイレの携行・使用があるのですが、その普及には様々な課題があるのも事実です。当会は、そうした中で、トイレ問題について「考える」活動だけでなく、現地での実践活動、啓発活動を、地道に、しかし着実に、長年取り組んできました。地域に拠点を置いた官民協働活動を高く評価すると共に、今後の活動の継続を強く望みます。



自然保護大賞について

2014年、自然保護憲章制定40周年の年に設立されました。地域性、継続性、先進性、協働性の観点から、優れた自然保護活動・生物多様性保全活動を表彰しています。素晴らしい活動を多くの方に知っていただくことで、SDGsやネイチャーポジティブの実現に向けた自然保護を推進する力にします。
協賛：経団連自然保護協議会、後援：環境省、国際自然保護連合日本委員会、自然保護憲章普及委員会



日本自然
保護協会

自然を守りながら、
暮らしを豊かに。

公益財団法人日本自然保護協会について

自然保護と生物多様性保全を目的に、1951年創立の日本で最も歴史のある自然保護団体のひとつ。ダム計画が進められていた尾瀬の自然保護を皮切りに、屋久島や小笠原、白神山地などでも活動を続けて世界自然遺産登録の礎を築き、自然を守る活動を全国の会員と共に続けています。「自然のちからで、明日をひらく。」というメッセージを掲げ、人と自然がともに生き、笑顔で生活できる社会を目指すNGOです。

■ 本リリースに関するお問合せ

日本自然保護協会 日本自然保護大賞担当：志村、岩橋、渡邊

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F Tel:03-3553-4101 Email: award@nacsj.or.jp